

発達障害啓発週間

毎年
4/2~4/8は
発達障害啓発週間
です!

2007年国連において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー（WAAD）」とすることが定められたのを機に、わが国では4月2日からの1週間を「発達障害啓発週間」と定め、広く発達障害についての理解と支援をよびかける活動を進めています。



発達障害啓発イベント 2022 JDDnet大阪企画

発達障害における家族支援 ～ペアレント・トレーニングの現状と課題～

日時：4月3日（日）13:30～16:30（13:15受付開始）

会場：ドーンセンター 4F 大会議室1
（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設利用ガイドラインに沿って実施します。

<https://www.dawncenter.jp/thema/info07.pdf>

参加費：一般 1000円
（JDDnet会員は、500円）

定員：40名（申し込み先着順）

申込先：メール:osaka@oasc.jp FAX:06-4862-4158

（詳しくは、裏面をご覧ください。）

プログラム

13:30 開会 あいさつ

13:40 講演「発達障害におけるペアレント・トレーニング」
今村 佐智子 氏（一般社団法人発達支援ルームまなび）

14:40 休憩

14:50 パネルディスカッション

「発達障害における家族支援 ～ペアレント・トレーニングの現状と課題～」

パネリスト 徳永 侑子 氏（大阪府福祉部障がい福祉室 地域生活支援課）

石附 智奈美 氏（広島大学大学院医系科学研究科 作業行動探索科学）

井上 育世 氏（大阪LD親の会「おたふく会」）

16:20 閉会

主催：日本発達障害ネットワーク大阪（JDDnet大阪）
後援：日本発達障害ネットワーク（JDDnet）



改正発達障害者支援法（2016）においては「家族を含めたきめ細やかな支援」「地域の身近な場所で受けられる支援」の重要性がうたわれています。ペアレント・トレーニングも必要な家族支援の一つとして考えられます。最近、自治体だけでなく様々な場所で実施されるようになり「親子の関係性がよくなり、その後の子育てにゆとりがもてるようになった」等の声がある一方、「親子のニーズにあっていない」等、家族の考え方の変化も指摘されています。そこで、今回はペアレント・トレーニングについてご講演、行政、専門家、家族のそれぞれの立場からお話をふまえ、発達障害における家族支援の在り方をみなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。

申込方法

申込先 メール：osaka@oasc.jp

FAX：06-4862-4158

- ※ 必要事項（氏名、連絡先、JDDnet 所属の団体の会員は所属団体名）を明記の上、メールかFAXにてお申し込みください。
- ※ 参加希望者のお名前はすべて書いて下さい。
- ※ 所属団体名（下記記載の参加団体）がない場合は、一般での受付となります。
- ※ 先着順受付で定員（40名）になり次第締め切ります。
- ※ 申し込まれた方には受付番号を連絡先にお送りさせていただきます。携帯電話からのお申し込みの場合、PCからのメールを受け取れるようにしておいてください。
- ※ 申し込みをされてから1週間以上、受付番号の連絡がご確認できない場合は、早めにお問い合わせください。
- ※ 参加費は、当日会場受付にてお支払いください。

日本発達障害ネットワーク(JDDnet)は、発達障害関係の全国および地方の障害者団体や親の会、学会・研究会、職能団体などを含めた幅広いネットワークで、我が国における発達障害を代表する全国組織として従来制度の谷間に置かれ支援の対象となっていなかった、あるいは適切な支援を受けられなかった、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害のある人および家族の権利と利益の擁護者として、理解啓発・調査研究・政策提言等を行い、発達障害のある人の自立と社会参加の推進に向けて活動を行っています。



JDDnet 大阪は、下記団体が参加して、大阪でのJDDnet エリア活動を進めています。

日本発達障害ネットワーク大阪(JDDnet大阪) 参加団体

大阪府臨床心理士会 大阪府作業療法士会 日本感覚統合学会 日本LD学会
S.E.N.Sの会大阪支部会 大阪自閉スペクトラム症協会
大阪LD親の会「おたふく会」 大阪LD・軽度発達障害親の会「翼」
アルクラブ（大阪アスペの会）
自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス
＜オブザーバー＞ 大阪府発達障がい者支援センター
大阪市発達障がい者支援センター
堺市発達障害者支援センター